

150th

灯台ワールドサミットin東通実行委員会事務局

『尻屋崎灯台点灯150周年記念式典&灯台ワールドサミットin東通』開催まであと半年！

2026年7月11日開催の「灯台ワールドサミットin東通」まであと半年となりました。2025年はクリーンアップデーや星空ナイトツアーなどイベントを開催し、参加した多くの方に尻屋崎灯台を知っていただきました。

▼尻屋崎灯台は○○が“スゴすぎ”？？

尻屋崎灯台は、1876(明治9)年10月20日に点灯した、高さ約33mの“日本一高いレンガ灯台”です。日本最初の霧鐘(むしょう)や霧笛(むてき)、初めて電気で光ったアーク灯など、たくさんの「日本初！」や、「日本でここだけ！」の技術が使われてきました。さらに、灯台に隕石(いんせき)が落ちた日本唯一の出来事や、戦後に灯台が消えていたはずなのに光って見えた“怪火(あやしび)”の記録など、まるで物語のような不思議なエピソードが満載です。2022年(令和4年)12月12日には国の重要文化財にも指定されました。技術のワクワクと自然のふしき、そして人々のドラマがギュッとつまつた、まさに“エピソード盛りだくさんのスゴすぎ灯台”です！7月11日は村自慢の尻屋崎灯台をみんなで一緒に祝いしましょう！



今月の『ひがしとおり小話』

No.34 はいっ 東通村民俗芸能力ルタ



正月は、家族や親戚が集まり、家の中で一緒に遊んで過ごす風習があります。カルタや福笑い、すごろく等の室内遊びが、正月の定番として受け継がれてきました。そこで、今月の小話では『東通村民俗芸能力ルタ』誕生の歴史をご紹介します！

◎ 秋深し 稲穂を守る 雀ばい

この読み札から始まる『東通村民俗芸能力ルタ』で、遊んだ思い出はありますか？『東通村民俗芸能力ルタ』は、能舞、大神楽、獅子舞、田植え餅つき踊り等、東通村に伝わる民俗芸能の理解を深めることを目的に、1999年12月10日に、東通村により発行されました。

原画は山本 憲一氏によって描かれ、読み札は検討委員会にて作成されました。これまで、カルタ大会等の学校行事を通して、教育の場でも活用されてきました。

小正月や寒い日には『東通村民俗芸能力ルタ』を囲み、村の民俗芸能に触れてみてはいかがでしょうか？